

## 第6回設置検討会議後に各団体が実施した意見交換における意見等

- 1 湯来東小学校 PTA
- 2 湯来保育園保護者会
- 3 湯来南保育園保護者会
- 4 水内地区町内会連合会
- 5 杉並台連合町内会
- 6 湯来西小学校 PTA

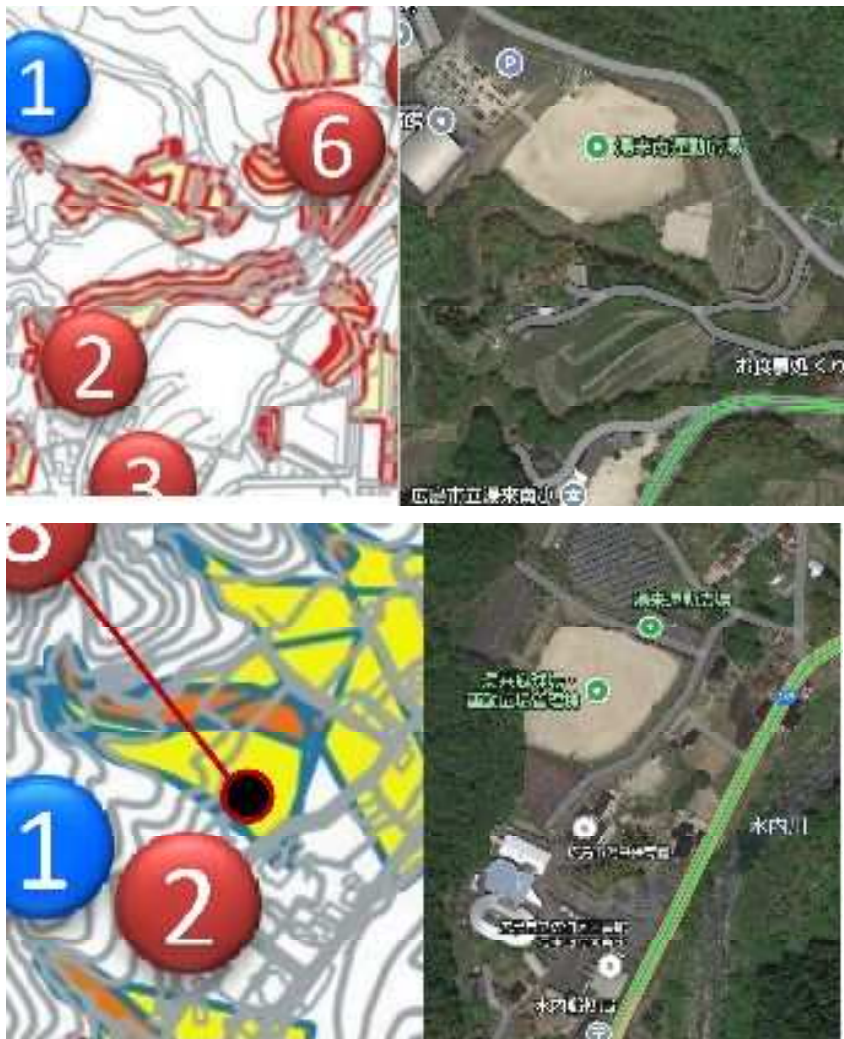
## 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 第 6 回会議についての湯来東小学校保護者の質問・意見

### 【質問 1: 会議の期限について】

第 5 回会議でも質問をさせていただいた内容で確認ですが、第 6 回会議で結論が出ない場合、令和 6 年度の予算要求に間に合わせることができなくなると考えられます。住民、保護者の意見としてはこの 1 年、2 年の差を大きな問題とは考えておらず急ぐ必要を感じていません。住民がしっかり納得できる内容とし、令和 7 年度の予算要求で対応していただくことは可能でしょうか。今回の会議を逃すと、これ以降は行政で学校新設の対応をしてもらえず、住民が学校の存続を望んだとしても湯来町内の学校は市の決定によりある時期に「廃校」にされてしまう為、今急がなくてはならないという意見が出ています。令和 7 年度の対応は可能でしょうか。教えてください。

### 【質問 2: 実際の設置イメージ図を作成願えますか】

今まで資料として出して頂いた候補地の地図では、具体的な設置イメージがわかりません。イメージが明確になっていないのに、第 6 回の会議で決断というのはするべきではないと考えています。通学・防災・学校生活がよりイメージできるような、せめてカラーの航空写真・防災マップ・校舎配置のイメージ図を資料として出して頂き、よく検討する必要があります。ネットで確認できる防災マップの pdf は○数字が邪魔で解りづらいと感じています。



【湯来東小学校保護者の意見としては設置場所は和田の運動広場】

すべての保護者の意見が完全に一致というわけではありませんが、ほとんどの保護者の考えは和田の運動広場です。主な意見を挙げます。

① 設置すべき場所は和田の運動広場

- ・湯来町全体を考えた距離＝通学時間の平等＝和田の運動広場
- ・現在の人口配分を考えて設置したとしても、それが20年後も同じとは限らない。
- ・砂谷地域に学校が新設されると、現状で津伏地区(湯来町の東端あたり)では10人ほどの子供たちに影響が出る。であれば、子供が増えなければ影響が出にくい15年以降に合流する形でも良いと思う。

② 急いで5校1校にまとめるべきとは考えていない。令和6年度の予算要求に間に合わせる必要があるのなら理由を教えてください。

- ・5校を1校にまとめることは、大変大きな決断であるため、しっかり検討が必要。西と東が先行統合するので、10年後、それ以降で良いと考えている。
- ・あり方会議からの流れで、長期間「遠くでも通いたくなるステキな学校について意見をだしてください」という議論のポイントがぼやけた、進まない会議が続いていた印象です。場所について、具体的な意見や疑問が多く保護者からやっと出始めた頃です。2ヶ所の候補地についてもより詳細に疑問点を明確なものにして、納得して1ヶ所の候補地にしぼることもできると思いますが、次の会議1回では無理かと考えます。そして、「学校の内容」について、たたき台は出しましたが、湯来町の学校である具体的な内容が無く、生徒数の箇所を除けば他の地名に変えても成り立つ普遍的なものに感じました。たたき台が出たからと言って、2～3年こだわって話し合ってきたはずの内容の部分についてはまだ何一つ深まってはいないと見られます。内容が予算要求に関係ないのだとしたら、設置場所の話になる前の会議の本質が何を目指していたのか不可解になってしまったように見えています。
- ・誰のための会議だったのでしょうか。
- ・今まで会議に参加してきた代表者、考えて意見を出してきた保護者にとって、『結局、広島市に決めてもらおう』という事は決して考えられません。会議を続けてきた意味がなくなるので断固反対です。労力はかかりますが今までかけてきた時間などを考えると、会議で結論を出すべきです。

2023年9月

## 湯来保育園保護者会 意見・要望等集約結果

### ① 「湯来南運動広場」「湯来運動広場」どちらの候補地がよいか(湯来地域全体を考えて)

・和田の湯来運動広場を希望。砂谷地区になるのであれば、今の時期に水内地区から学校を無くすことを確定させる必要は無いと考えている。議論に納得しない住民が多いまま、慌てて決めるのは後々にとって良くない。もっと具体的に議論を進めて決めることができれば、皆納得して協力的になれる。

・地域コミュニティの核として機能を発揮しやすいのは湯来運動広場だと考える。図書館や保育園も近くにあり、子育て支援もしやすく、サンピアが近くにあるので住民交流もしやすい。災害時の避難も迅速にできると思う。(ただし前提条件として、擁壁・砂防ダムで安全性がある程度確保できるのか専門家の意見を聞きたい)

・湯来運動広場に新築校を建て、近隣に発達支援施設、Iターン・Uターン相談所を併設し、保育園や高齢者施設、図書館も含めて連携を取れば活気が出そう。

・湯来地域全体を考えるのであれば、「湯来南運動広場」を候補地に挙げるのは最初から疑問である。「湯来運動広場」のある和田は図書館や区役所湯来出張所などが元々ある場所であり、そこが湯来地域の拠点であるから、津伏や上多田の方々も利用されてきた場所。そのような場所に学校が無い(今後無くなる)というのはとても不思議に思える。地震や様々な災害は今日いつどこで起こっても不思議ではない。

ただ、サンピアは大丈夫で横の運動広場がダメと言うのであれば、しっかり対策することで元々の拠点付近の「湯来運動広場」に学校を作ることが、地域の活性化を含め一番相応しいのでは無いかと思う。

「湯来南運動広場」への通学を巡り、砂谷や杉並台の親からの意見で、徒歩で通わせることに不安があるということであるが、そんな不安のある場所に学校を作っても良いのだろうか？ 人気(ひとけ)の無いような、また傾斜のある場所を車で通っていく様な土地に学校を作るメリットはどこにあるのか。毎日通うのは最年少で6~7歳。雨の日や雪の日に1人で暗く長い道を通わせるのはどんな親でも不安に思います。毎日の危険と、いつ起こるか分からない災害を天秤にかけて、毎日の危険を選ぶことはデメリットでは無いのでは？

またバス通学にせよ、上多田からは6時台に乗らないといけない、帰りも夕方遅いとなればサラリーマンや仕事勤めと同じに思えてならない。こうした問題を解決するために、一般バスとは別にスクールバスの手配と考慮が必要であると思う。子どもたちのことを第一に考えた学校作りをしないと、いくら新しい学校を作っても意味が無いのではと思います。

・いずれの場所にも設置の可能性がある中で、「建てるとして」のもっと具体的なシミュレーショ

ンが無ければ、議論の深まりようが無いと考える。例えばより具体的に、敷地のどこがイエローゾーンやレッドゾーンにかかっている、敷地内のどのあたりにどういう向きで建てればいいのか、またどのように擁壁や砂防堰堤などが設置されれば安全性の担保に繋がるのか、スクールバスをどう運用するのか、結果としてどのくらいの規模感の費用がかかるのか等のシミュレーションが示されなければ、イメージを膨らませて比較検討を進めていくことが中々難しいと思う。

## ② その他意見・要望や質問、感想等

- ・【質問】先行統合の湯来西小学校区児童の通学について、町内に市の持ち物であろうクアハウスと湯来ロッジのマイクロバスがある。朝の登校時間だけでもスクールバスとして使うことは可能か、不可能か。現時点で不可能であっても調整できれば5校1校になる際のスクールバス運営に費用面の効果が期待できるのではないか。前倒しで湯来西小が統合し浮いた人件費等で、早めのスクールバスの運用と通学負担軽減の実例を今後の参考に見てみたい。
- ・【意見・要望】湯来南運動広場に新築校を建てるのであれば、路線バスを利用するのではなくスクールバスを用意してほしい。
- ・【意見・要望】湯来東小学校を分校として残してほしい。

## 第6回設置検討会議後に実施した意見交換における意見等（湯来南保育園保護者会）

- 湯来町を離れるしかないと思いました。子育てを湯来でしたいと、湯来に帰ることを考えていた友人たちも、戻ると子育てがしにくい環境になる。と言っています。

理由としては レッドゾーンに学校があること以外にも砂谷地区から水内方面も土砂崩れなどおきれば、最短のルートで迎えに行くこともできない。では、そんな日は休校にする。といった対策では、ひとり親・共働き世帯は仕事をどうしたらいいのでしょうか？

湯来体育館は、坂道はキツかったり人通り・車通りも少なく誘拐や山へ入ってしまった時などの不安もありますが 見守りのボランティア活動があったり、庭球場にある階段のような階段か、スロープのようなものも同時に設置できるのであれば、湯来体育館の方が安心できます。

それが難しいのなら、湯来から出て行くしかないんだな。と感じています。生まれ育った湯来町がよくなるならまだしも住みにくい場所になることがもうすぐ決まるんだなと思うととても悲しいです。
- まず、設置場所を決めるべき。湯来南小学校区も、運動広場に新設するのであれば、スクールバスを出すべき。（杉並台、ハーブヒルズ地区）

## 第6回設置検討会議後に実施した意見交換における意見等（水内地区町内会連合会）

## ○ 【質問1】湯来南運動広場について

湯来南運動広場について、廿日市市がスポーツ公園として借り上げる話が出ていると聞いたが、その進捗状況を教えてほしい。また、冬場での道路整備が必要とのこと。

## ○ 【質問2】湯来運動広場について

湯の山の湯来運動広場については、砂防ダムを造るのに、裏山が和田の共有林で地権者が整理されていないとのことだが、工事が出来るかどうか教えてほしい。

また、砂防ダムが完成すれば、レッドゾーンの指定を外すことができるのか教えてほしい。

## 第6回設置検討会議後に実施した意見交換における意見等（杉並台連合町内会）

## ○ 【質問1】交通手段について

例えば、路線バスの場合、湯来運動広場なら、最寄りのバス停は広電の「大橋」か、ささきの「湯の山温泉」、湯来南体育館なら、「砂谷酪農入口」か「砂谷中学校」ですが、これらはいずれも少し距離があります。場所が決まってから先の話かと思いますが、路線バスのルート変更なども必要かと思われます。

路線バスか、スクールバスか、対応方法は他にもあるかもしれませんが、バス通学等のプランについては教育委員会にお任せというスタンスで良いものかどうか、お聞かせください。

また、地域によっては地域住民やPTAが主体となってバスを走らせているところもあると聞きました。湯来南体育館の場合は坂が少しキツイが、大人が心配するほど子どもは弱くないという声もある一方で、さすがに低学年は厳しいだろうから南小からシャトルバスで新校舎に登校したらどうかという意見もあります。例えば、地域住民やPTAが主体となって、このようなバスを走らせることは可能でしょうか。

## ○ 【質問2】通学路の安全について

砂谷中学校から体育館までの坂道は人通り・車通りが少なく、子どもだけで歩かせるのには不安があります。

湯来体育館の場所に学校を設置する場合、徒歩で通学する子どもはその道が通学路になると思いますが、保護者・地域住民が見守りのボランティアをすることといった対策以外に、市の方で対策してもらえることはあるのか教えてほしいです。

## ○ 【質問3】跡地の利用について

今回、1校の新設に対して、5つの学校跡地が生まれることとなります。

跡地利用について住民からプランが提案された場合には、広島市からの様々な支援をして頂けるものと期待しています。

尚、学校が遠くなった地域へは優先して予算措置などを検討してもらえるとといったことが可能なものかどうかをお聞きしたいです。

## ○ 【意見・感想】レッドゾーンについて

擁壁等で安全になっても、レッドゾーン指定の解除はなく、レベル4が出たら学校からは避難することになると聞いた。

最近、朝の時点では警報までは出てなくても、登校後に天気が急変することも考えられる。

最も安全が要求される子ども達の学校でありながら、親御さんが迎えに来るまで待機することすら出来ず逃げ出さないといけないケースが、もしかしたらあるかもしれない。

そんな時には、200人余りの子ども達はどこに避難すれば良いのか。

また、9/19の中国新聞朝刊で、尾道市の小中統廃合の記事があった。その中で、土堂小学校での存続を希望する声に対して、「国土交通省によるとレッドゾーンへの学校建設は1つもない」と



いう記事があった。

子どもの安全を最優先に考えるのであれば、レッドゾーンに指定されているところに学校を設置することに不安を感じる。できればイエローゾーンも避けてほしい。

○ 【意見・感想】クラブ活動について

先生方の働き方改革により、クラブ活動の弱体化も懸念されており、地域からの外部指導者の力も求められている。

湯来運動広場ならクアハウス、湯来南体育館ならそのまま体育館のサポートが期待できるかと思う。クラブ活動での充実した指導体制が期待出来る点は、一貫校の強みとして打ち出して行けると思う。

## 湯来西小学校 PTA 意見集約結果 (2023 年 10 月)

## ①設置場所について

設置場所は湯の山運動場を希望します。理由としては

- ・小学校 3 校の中心的な位置でもあり、移動距離や時間を考慮しても子供達に平等。
- ・湯来体育館近くの広場に設置した場合、町外から移住して新設校に通わせたいと思う方は利便性などを考えると砂谷地区を選ばれる可能性が高く、上水内・水内地区がますます過疎化してしまうのではと危惧する。
- ・水内川を中心に、より地域の特性を生かした教育を行うことができる。
- ・仮に湯来体育館近くの広場になった際に、小学生(特に低学年)が長時間バス通学する事を考えた時に東小を分校として残してはどうかという案も検討して頂きたい。

## ②設置時期について

- ・5年後を目指して、議論を進めるべき。
- ・5年後5校統合がありきで考えおり、仮にそれが延びるのであれば、急いで東小との先行統合は考えていなかった。
- ・統合を先延ばしにする意味がわからない。何十年も進まなかった話がやっと前進したにも関わらず、また止めてしまっははこの先5校統合などできるように思えない。西と東の来年度の統合は5年後を見据えてひとまずということと認識していたので、賛同していましたが、5校統合が先延ばしになるというのならそれは違うかと... それなら西小は無くさなくても良かったのではないかと感じるのが正直なところ。
- ・西小学区から小学校がなくなる事自体、地域の過疎化に繋がってしまうおそれがあるのに、5校統合の話ですら先延ばしにしてしまうのは、湯来町全体の教育機関としての機能が落ちてしまう。
- ・合併の話はかなり前から出ていながらなかなか進まなかった経緯があり、個人的には先延ばしにするメリットはあまり感じられない。
- ・来年度の予算要求をして、その後の議論がどこまで可能かにもよるが、1年先延ばしにすることで得られるものと、その1年で子どもたちが得られるものを比較すると、後者の価値のほうが大きいのではないか。
- ・子どもたちは、早く統合してほしいと言っている。子どもたちに意見を述べてもらう場も必要ではないか。
- ・5年後を目指して、どうしても間に合わないなら、1年延ばすのは理解できる。
- ・学校の方針やカリキュラムなどが具体的に決まっている訳ではなく、候補地を検討する

のにどうしても通学や利便性を判断材料にしてしまうので、1年ぐらいなら先送りにしても議論を深める方がいいのではないか。こういう学校にしたいからこの場所でという考えの方が、みなさん納得しやすいのでは。

### ③質問事項

- ・今から5年間の流れの詳細を、改めて共有してほしい
- ・来年度の予算要求は、基本設計についてだと思うが、基本設計とは具体的にどこまでを設計するものなのか。具体的な内容を知りたい。
- ・カリキュラム等については、来年度の設計を進める中で、並行して議論していくことが可能なのか。それとも、今の段階で、ある程度方向性を決めていないといけないのか。
- ・基本設計事業者の選定は、プロポーザル（提案内容重視）なのかそれとも入札（価格重視）なのか。
- ・プロポーザルだった場合、その審査の際に意見を言えるのか、地域の希望を重要視してもらえるのか。